

野党より提出された「厚生労働委員長に対する不信任の動議」に対して、以下の内容で反対討論を行いました。

166-衆-厚生労働委員会 平成 19 年 5 月 30 日

伊藤(信)委員 自由民主党の伊藤信太郎です。

私は、自由民主党及び公明党を代表いたしまして、ただいま議題となりました厚生労働委員長櫻田義孝君不信任に関する動議に対し、反対の討論を行うものであります。(拍手)

櫻田委員長は、委員長就任以来、国民の負託にこたえるため、決して一党派に偏することなく、常に公正中立の立場から円滑かつ円満な委員会運営を図り、その職責を全うしてこられました。このことは野党の諸君も十分御存知であると思います。

にもかかわらず、今回の厚生労働委員長櫻田義孝君不信任に関する動議の提出は、いたずらに国会を混乱に陥れ、国民の信頼を失わせるものにほかなりません。

また、委員会審議においては、野党の理事は、自分の期待どおりの答弁がないと何度も委員長席に詰めかけ、大声で不規則発言を繰り返すなど、政府側の答弁を妨げているだけでなく、質問者、それも野党議員の質問までも妨げている次第であります。あげく、委員長に対する数々の非礼な言動は、国民の負託を担う議会人として到底許されるものではありません。仮に、委員会が円満に運営されていないとするにしても、その原因がどこにあるかは明白であります。委員長の議事進行を妨害する者がいる状況の中、円滑かつ円滑に委員会を運営しようと御尽力をされている櫻田委員長には、心より敬服いたします。

もとより、法案に対する賛否が分かれるのは、各会派の立場の違いがある以上、やむを得ないことでありますが、みずからの主張どおりにならないというだけで委員長を取り囲んで混乱状態をつくり出したりするのは、議会制民主主義を否定する行為であり、決して許されるものではありません。その上、委員会休憩中に、委員長が理事会室から出られない状況をつくり出すに至っては言語道断のきわみであり、野党諸君の猛省を求めます。

最後に、公正中立な委員会運営に全力を尽くし、委員長としての職責を果たしてきた櫻田委員長に対し、不信任を求める理由は何らないことを重ねて申し上げ、委員各位がこの党利党略で無責任きわまりない不信任動議に断固反対することを強く訴え、本不信任に関する動議に対する反対討論といたします。(拍手)